

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-30416

(P2003-30416A)

(43)公開日 平成15年1月31日(2003.1.31)

(51)Int.Cl'

G 06 F 17/60

識別記号

1 7 2

1 2 6

5 1 0

5 1 2

G 06 K 17/00

F I

G 06 F 17/60

テマコード(参考)

1 7 2 5 B 0 5 8

1 2 6 C

5 1 0

5 1 2

G 06 K 17/00

L

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全4頁)

(21)出願番号

特願2001-250899(P2001-250899)

(22)出願日

平成13年7月17日(2001.7.17)

(71)出願人 301032621

株式会社藤田電機製作所

神奈川県中郡二宮町山西945番地

(72)発明者 矢野 修平

神奈川県中郡二宮町山西945番地 株式会

社藤田電機製作所内

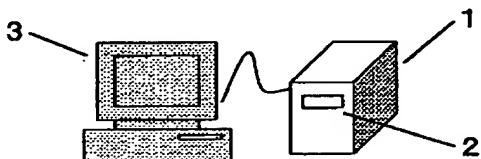
Fターム(参考) 5B058 CA40 KA02 KA04 YA11 YA20

(54)【発明の名称】 来訪者自動識別案内方法

(57)【要約】

【課題】企業や共同住宅及び学校など公的機関や医療機関などへの訪問において、訪問者の識別及び訪問者への行先案内を、人を介すことなく低成本で、しかも簡単な入退場手続きにより実現し、同時に訪問者の訪問履歴を該入退場手続きの中で、自動的にデータベースに取り込むことができるシステムを提供する。

【解決手段】必要な保守手順が施された来訪者予約管理データベースを有するコンピュータと、該コンピュータに接続されたリライトカードプリンタの機器構成によって、来訪者が保有するリライトカードを該リライトカードプリンタに挿入することにより、コンピュータは該リライトカードに記録された識別番号をもとに、データベースから必要な情報を取り出し、来訪者を識別すると同時に、該リライトカードに来訪者への案内情報を印字する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】来訪者が保有するリライトカードを、訪問予約情報が管理されているデータベースを有するコンピュータと接続されたリライトカードプリンタに挿入することにより、該来訪者の訪問予約管理状況を識別する機能と、該識別結果を該リライトカードに印字することによって該来訪者の身分を証明する目的及び案内情報を該来訪者に伝達する目的を実現する機能を有した来訪者自動識別案内方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、企業や共同住宅及び学校など公的機関や医療機関などにおいて、外部からの訪問者に対する該来訪者の訪問予約管理状況を識別する方法及び該来訪者に対する案内情報伝達方法に関する。尚、リライトカードとは、磁気記録又は半導体メモリなどによる情報記録機能およびカード表面に視認可能な印字と消去を繰り返し行うことのできる機能の両方を有するカードサイズの記録媒体をいい、リライトカードプリンタとは、コンピュータとの通信制御により、前記リライトカードの保有機能を実現する装置。

【0002】

【従来の技術】従来、セキュリティーの目的を含めた来訪者管理を目的として、外部からの訪問者に対して、該来訪者の訪問予約管理状況の識別、および訪問目的に対する該来訪者への案内情報提供などを行なうために、受付部門に人を常駐させ、人による口頭での確認によって識別および案内を行なった場合の問題点を解決する手段として、IDカードや指紋判定装置などとコンピュータの組合せによって、来訪者を自動識別案内する方法があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】受付部門に識別案内担当者を常駐させることなく任意の来訪者を識別案内する方法として、IDカードや指紋判定装置などとコンピュータとの組合せによる来訪者自動識別案内方法があるが、これら従来の方法は、情報伝達の双方向性を高めようとすると、設備投資費用およびランニングコストが大きくなってしまうという課題。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、汎用のコンピュータとリライトカードプリンタの機器構成上で、リライトカードを使用するシステムによって、上記課題を解決している。該システムは、訪問先部署および担当者など訪問目的を登録するプロセスと訪問予約を登録更新するプロセスと訪問予約が事前に取れることを照合確認するプロセスと訪問予約照合確認結果を該来訪者に伝達するプロセスと訪問目的に対する案内情報を該来訪者に伝達するプロセスと訪問履歴を登録更新するプロセスとからなる。

【0005】

【発明の実施の形態】第1図は、本発明の来訪者自動識別案内方法のシステム構成図であり、第2図は、該システムにより実行される処理のフローであり、第3図および第4図は、該システムにより発行されるリライトカード印字例である。

【0006】まず、訪問予約管理データベースとして、訪問エリア別マスターファイル、訪問目的先別マスターファイル、訪問先担当者別マスターファイル、および訪

10 問予約者ファイルと訪問履歴ファイルを作成する。訪問エリア別マスターファイルには、エリア別の建物、階数、部屋番号、駐車場、セキュリティーゲートなどエリア個別情報が登録されている。訪問目的先別マスターファイルとしては、訪問先部署別にエリア指定、セキュリティーランク、駐車場エリアなどが登録されている。訪問先担当者別マスターファイルには、所属部署、電話番号、セキュリティ権限ランクなどが登録されている。訪問予約管理ファイルには、事前の訪問予約情報として、訪問者名、訪問者人数、訪問日時、訪問先部署、訪問先担当者などが登録されており、該訪問予約者ファイルは、随時変更することができる。訪問履歴管理ファイルには、訪問実績のデータが、記録されている。

【0007】次にこの来訪者自動識別案内方法による予約管理システムの一般的な流れを説明する。訪問者が訪問先に訪問予約を取る手段は、例えば電話で予約するなどの従来からの手段と同じである。訪問予約を受けた場合、本システムのデータベースに予約情報を入力する。初めての訪問の場合は、本システムで使用する該訪問予定者の識別番号が記録されたリライトカードを郵送するか、訪問当日に受付け部門において該リライトカード発行手続きをするためのパスワードを該訪問予定者に伝える。

【0008】該訪問予定者は、訪問当日、訪問先の受付部門において、該リライトカードを本システムのリライトカードプリンタに挿入する。本システムのコンピュータは、挿入されたリライトカードの情報と予約管理データベースの訪問予約管理ファイルとの照合を行ない、該来訪者を識別した後、受付完了情報をリライトカードに記録し、受付番号と各マスターファイルの検索による案内情報をリライトカードに印字し排出すると同時に、予約管理データベースの訪問予約管理ファイルを更新する。識別結果として何らかの理由で受付完了できない場合は、その旨をリライトカードに印字し、該来訪者に対して的確な指示を与える。

【0009】受付が正常に完了した該来訪者は、リライトカードに印字された案内情報に従って行動する。また受付完了したリライトカードは、セキュリティーなどの検査に対する入場許可証としても使用する。また、訪問目的が終了した時点において、被訪問者側にてリライトカードをリライトカードプリンタに挿入することによ

り、訪問履歴をより詳細に管理することも可能である。該来訪者は、受付部門退場時に、リライトカードをリライトカードプリンタに挿入することにより、本システムは訪問目的終了情報および受付部門退場情報を、リライトカードに受付部門退場日時を印字することにより、該来訪者に対して、今回の訪問が全て終了したことを伝える。また本システムは、予約管理データベースの訪問履歴管理ファイルを更新する。

【0010】以上のように、簡単な手続きによりリライトカードを発行でき、またリライトカードの複数可能な印字と消去を繰り返し行うことのできる特性を活かして、2回目以降の訪問時には、同じカードが使えることになる。

【0011】

【実施例】本発明を図示の実施例に基づき更に詳しく説明すると、1はリライトカードに印字及び一度印字された内容を消去する機能を有し、かつリライトカードの情報記録手段として磁気記録又は半導体メモリ記録に対して、記録及び読み取機能を有したリライトカードプリンタである。2は、該リライトカードプリンタに対してカードの挿入口および取出口となる。3は汎用のコンピュータであり、リライトカードプリンタ1とは、あらかじめ決められた通信手順によって、情報接続可能となっている。

【0012】4は、企業などの訪問において、本発明を活用した場合のリライトカード印字例であり、41の番号は来訪者の識別完了受付番号であり、42の名前は来訪者の名前であり、43の日時は事前登録されている予約訪問日時であり、44の日時は該来訪者が受付部門にて受付完了した日時であり、45の宛先は、該来訪者の訪問宛先会社名、部署名であり、46の担当は、該来訪者の訪問宛先担当者名であり、47のメッセージは、受付部門から目的の訪問先部署までの行先案内情報である。

【0013】5は、医療機関などにおいて、本発明を診察券機能の一部として活用した場合のリライトカード印字例であり、51の番号は患者の識別受付番号であり、52の名前は患者の名前であり、53の日時は事前登録されている診察予約日時であり、54の日時は患者が該医療機関に到着した日時であり、55のメッセージは、

10 40
受付確認と患者への案内情報であり、56は医療機関の名前と電話番号である。
【0014】図2は、実施例のフローチャートである。他の実施例として、美容院、ホテル、ゴルフ場などあらゆる予約管理および学校や総合ビルなどでの施設の警備に適用できる。
【0015】
10 20
【発明の効果】本発明によれば、企業や共同住宅および学校などの公的機関や医療機関などにおける任意の来訪者に対して、専任の識別案内担当者を常駐する必要がなく、訪問予約管理が常にコンピュータのデータベースに基づいてなされるため、来訪者管理に対してあいまい性が排除され、また明確なトレーサビリティが維持でき、別途コンピュータへの入力作業をすることなく、リアルタイムに来訪者履歴管理データベースを自動的に更新することができるなどの従来のIDカードや指紋判定装置とコンピュータを組み合わせた来訪者自動識別案内方法の特長を活かしたまま、識別確認が終了した後、リライトカードの印字手段により、該訪問者に対してわかりやすく確実な案内情報を提供できるという機能を、リライトカードの複数可能な印字と消去を繰り返し行うことのできる特性を活かして、従来の方法に比べて格段に安い費用で実現できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の来訪者自動識別案内方法のシステム構成図である

【図2】本発明の来訪者自動識別案内方法により実行される処理フローチャートである

【図3】企業などの訪問において本発明を活用した場合に、来訪者識別案内自動指示装置により発行される、リライトカード印字例である

【図4】医療機関などにおいて本発明を診察券機能の一部として活用した場合に、来訪者識別案内自動指示装置により発行されるリライトカード印字例である

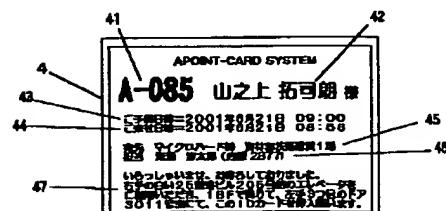
【符号の説明】

- 1-リライトカードプリンタ
- 2-カード挿入口
- 3-汎用のコンピュータ
- 4-リライトカード

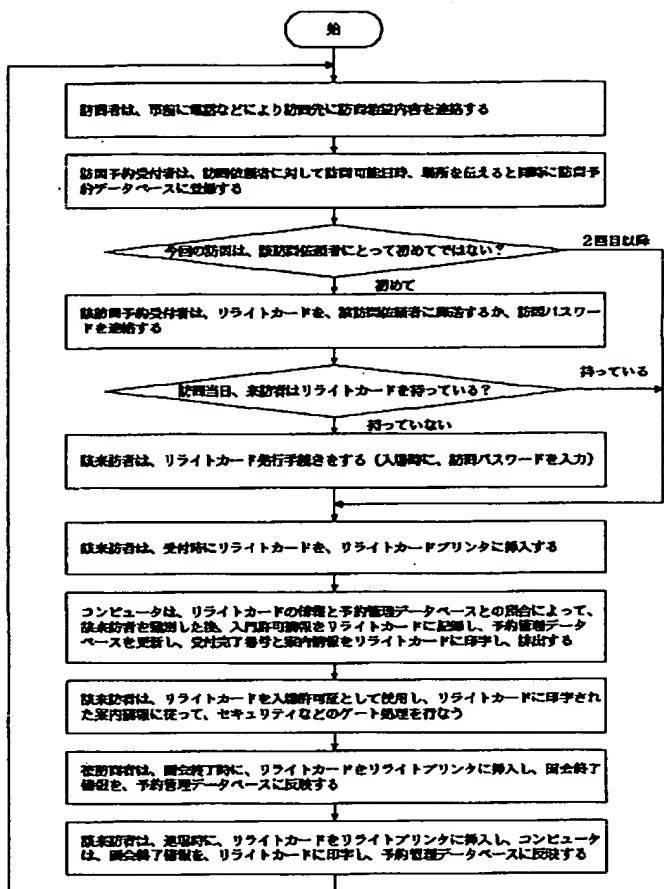
【図1】



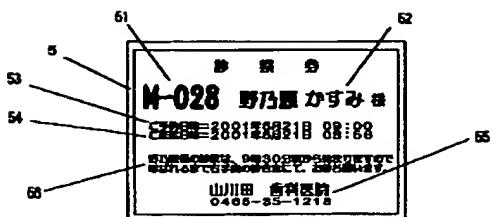
【図3】



【図2】



【図4】



PAT-NO: JP02003030416A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003030416 A

TITLE: METHOD FOR AUTOMATICALLY IDENTIFYING AND
GUIDING VISITOR

PUBN-DATE: January 31, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YANO, SHUHEI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJITA DENKI SEISAKUSHO:KK	N/A

APPL-NO: JP2001250899

APPL-DATE: July 17, 2001

INT-CL (IPC): G06F017/60, G06K017/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system which realizes visitor identification and destination guide for visitor without manual help at a low cost and also with simple entrance and exist procedures and also, can simultaneously and automatically fetch visiting history of the visitor to a database during the entrance and exit procedures in visiting to a company, an apartment house, an official organization such as a school, a **medical** institution or the like.

SOLUTION: According to the device configuration of a computer having a visitor **appointment** management database subjected to required maintenance procedures and a rewrite card printer connected to the computer, the computer extracts needed information from a database on the basis of an identification

number recorded on the rewrite card, identifies the visitor and simultaneously prints guide information to the visitor on the rewrite card in such a manner that the visitor inserts the rewrite card owned by the visitor to the rewrite card printer.

COPYRIGHT: (C)2003, JPO